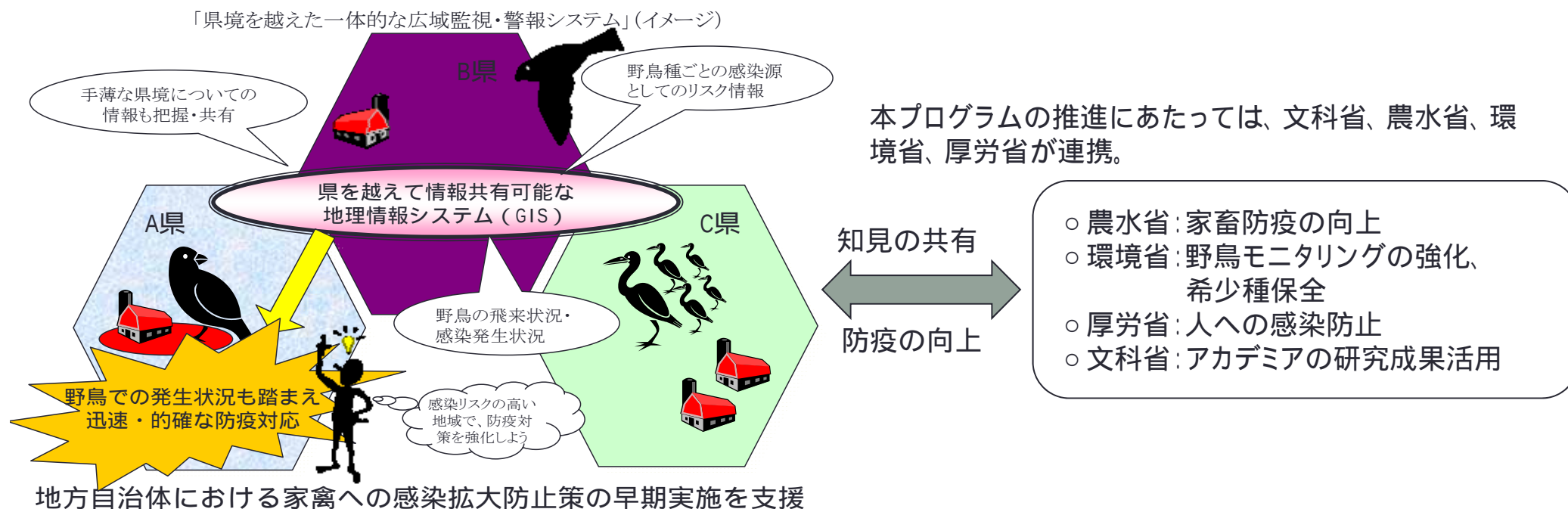


科学技術戦略推進費 地域社会における危機管理システム改革プログラム「各種感染症への対応」

ライフー1

強力な感染力を持ち、近年その被害が社会問題となっている鳥インフルエンザへの対策は、大流行以前の早期発見・防疫対策（摘発淘汰、消毒等）の確実な実施が最も重要である。このため、防疫の主体となる地方自治体における迅速かつ的確な初動対応を支援する「県境を越えた一体的な広域監視・警報システム」を構築することを目的として、本プログラムを開始。（平成23年度より原則3年間）



- 総合科学技術会議は、初年度終了時までには文部科学省からプロジェクトの進捗状況等について報告を受け継続の可否等について確認することとされている。
- 2月13日に実施ワーキンググループを開催し、進捗状況を確認するとともに、平成24年度の実施に向けた課題を抽出。

【実施ワーキンググループにおける指摘事項及び対応】

1. システムについて

- (1) 本情報システムの設計については、具体的な仕様や機能等を示しつつ、最終的な管理主体や府省、自治体等の関係機関の役割や協力体制について検討を行う事。
- (2) 参画県の要望を把握して、システム設計に反映させる事。
- (4) 各県が保有する既存システムのデータの活用を図ること。

< 本プログラムにおいて構築を目指すシステム >

- 現在、地方自治体において用いられているシステムの問題点を解消するため、
 - ・国、地方自治体の関係者がアクセスし、容易に情報閲覧・更新が可能となるようにデータベースをクラウド上に構築(既存のシステムともデータフォーマット互換性をとる)
 - ・地域情報(農家情報、野鳥の飛来情報、鳥インフルエンザ発生状況)、埋却地や消毒ポイントの選定を支援する地図情報等をコンテンツとして想定
 - ・合わせて、野鳥飛来情報と伝播リスクを位置情報化し提供
- 県対策本部と現地対策本部における情報のリアルタイムで共有し、速やかな防疫体制の構築や、県境をまたぐ地域での効率的な消毒ポイントの設定等に活用。
- システムの最終的な管理主体としては、動物衛生研究所を想定。
- また、自治体の要望については、本プロジェクトに参加する地方自治体から、機能等に対するニーズを吸い上げるとともに、現場情報(農場、環境、防疫対策)の提供や、システム設計、評価(防疫演習での活用)への協力を得る体制を構築しており、それらの情報は適宜、システム設計にフィードバック。

鳥インフルエンザ危機管理情報共有システム全体概要

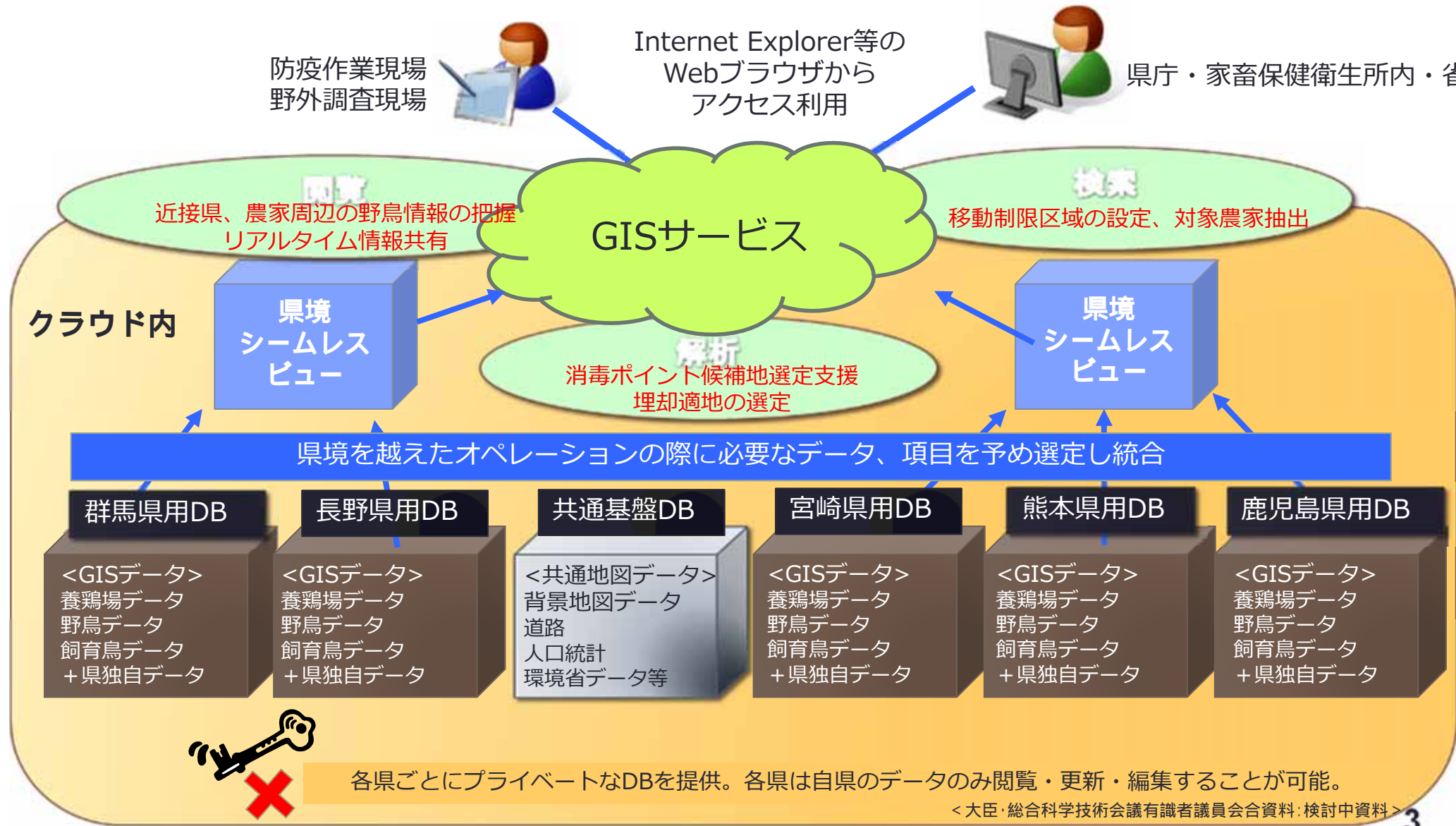
利用者

防疫作業現場
野外調査現場

Internet Explorer等の
Webブラウザから
アクセス利用

利用者

県庁・家畜保健衛生所内・省庁



システムコンテンツについて

想定されるコンテンツ

地域情報

管内の農家（家禽飼養羽数100羽以上）飼育鳥（家禽飼養羽数100羽未満、動物園等展示鳥）・・・位置、羽数、所有者等
地域の野鳥情・・・飛来地、飛来数等
農家毎の埋却予定地情報（焼却炉）

鳥インフルエンザ発生時情報

発生通報
移動制限区域
発生農家、検査対象農家情報
現地対策本部情報
防疫作業進捗情報
検査日程・結果（清浄性確認、立ち入り）
全国規模の基礎情報

野鳥飛来情報
野鳥種別リスク情報
内外鳥インフルエンザ発生情報
環境省野鳥サーベイランス情報
OIE/FAO/WHO関連情報
連絡事項（通知等）
その他防疫に必要な情報

コンテンツを支えるGISデータ (畜産部局外の地方自治体データの活用)

埋却地の選択支援、埋却地の適地選定

- ・農地の筆界情報（農地の登記情報）
- ・地下水マップ
- ・都市計画図（ゾーニング）

消毒ポイント候補地選定支援、候補地選定基準検証、

う回路設定支援

- ・道路ネットワーク

環境省の野鳥定点観測情報

- ・鳥獣保護区

影響を受ける地域の人口の集計

- ・基本統計情報

コンテンツの表示目的とコストに応じた背景地図データの選択

データごとに☐入力権限・公開範囲を指定

コンテンツの活用

- ✓県対策本部と現地对策本部に於ける情報のリアルタイム共有
 - ✓発生農場情報
 - ✓検査結果
 - ✓防疫作業進捗
 - ✓隣県での進捗把握
 - ✓検査日程調整
- ✓移動制限区域の設定
 - ✓設定区域内農場情報
 - ✓位置、数、飼養羽数、所有者居住地etc.
- ✓消毒ポイント設定
 - ✓県境をまたぐ幹線道路での隣県協力
- ✓埋却適地の選定
 - ✓隣接環境の事前把握
 - ✓搬送経路の決定
 - ✓県境を超えた水系を考慮
- ✓全国、近接県、農家周辺の野鳥情報の把握
- ✓その他

多様なユーザ、多様な端末から
Webブラウザでアクセス



防疫作業現場



県庁、家畜保健衛生所、大学等のオフィス環境



野外調査現場

